

関西大学大学院  
外国語教育学研究科 講演会

# 通訳研究の可能性 － 英語教育への応用も視野に －

講演者：高橋 絹子教授  
(関西大学大学院  
外国語教育学研究科)



2022年

7月30日 **土** 14:00-15:30

【形式】オンライン：Zoom

(※ 事前申込みが必要です)

◆ 申込方法 ◆ [こちら](#)をクリックもしくは、QRコードをお読み取りの上、参加申し込みを行ってください。申込〆切は2022年7月21日（木）までです。参加費は無料です。



## 概要

通訳に関して一般的に語られることはあっても、学術的な観点から研究が行われることは少ない。さらに通訳が学術的な研究の対象となり得ることさえ、あまり知られていない。「通訳研究」は翻訳学や応用言語学の下位分類と考えられ、さまざまな角度から学際的な研究が可能である。これらの研究を紹介するとともに、通訳を「研究」とはどのようなこととどのような意味があるのか、また通訳訓練の英語教育への応用の可能性も探りながら、「通訳」という「行為」を学問の側面からとらえ、今後の研究の在り方を検討したい。

## 略歴

関西大学 外国語学部・大学院外国語教育学研究科 教授。上智大学大学院博士後期課程修了。博士（言語学）。専門は通訳研究。上智大学外国語学部ドイツ語学科卒業後、2年間の外資系の銀行勤務を経たのち、約25年間、通訳者として稼働。現在は主に社会言語学、音声学を援用し応用言語学の枠組みで、通訳に関する研究を行う。その傍ら、長年の趣味が裏千家茶道であることから、通訳案内士の資格をいかし、学部では観光通訳の指導も行う。博士前期課程はTESOLコースであったため、通訳訓練の英語教育への応用（TILT）の研究にも興味を持つ。

主催

関西大学大学院 外国語教育学研究科  
<http://www.kansai-u.ac.jp/fl/graduate/index.html>